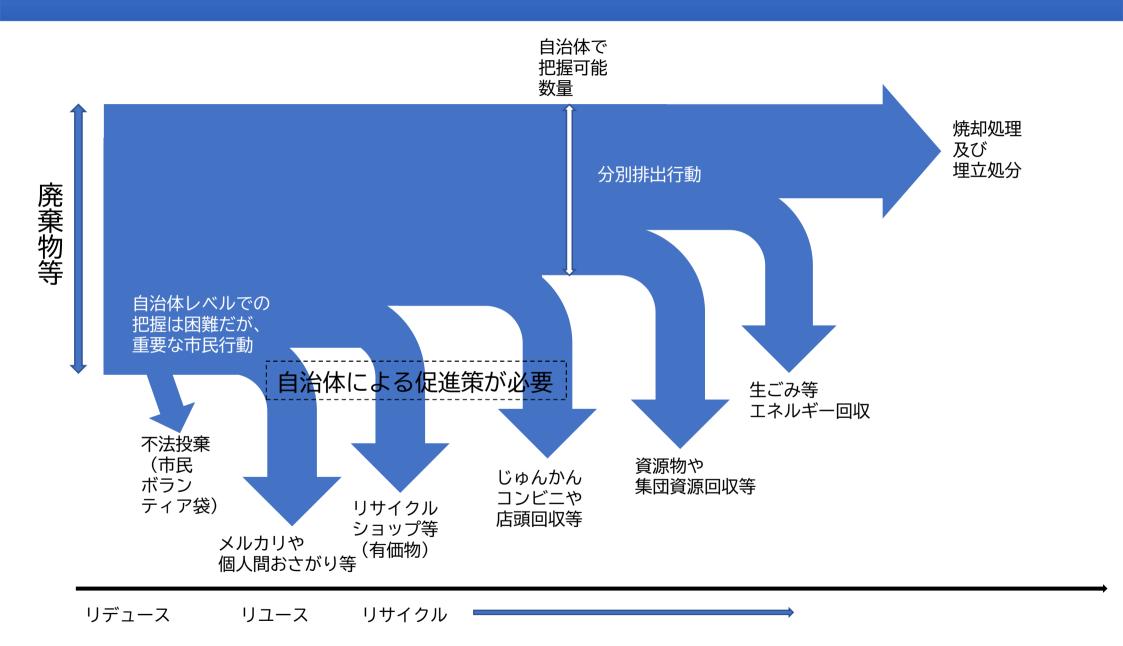
第3回ごみ処理恵庭モデル検討会

- 1. 令和4年度清掃事業概要について (別紙資料1)
- 2. 事業系廃棄物処理実態調査結果について (別紙資料2)
- 3. ごみ処理恵庭モデルの目指すゴール(具体性)の 共有について
- 4. リサイクルセンターの運営手法の検討について (協議会(案))



3. ごみ処理の流れの整理 (目指すべきゴールに 向けて)

ごみの発生量から処理量の流れ



過去から現在に至る時代とともに変化する廃棄物行政の流れ

- ◎社会情勢
- ・人口(高齢化率)
- ・財政
- ◎上位計画
- 国、北海道
- ・関連部局
- ◎国際的視点
- ・SDGs、脱炭素

前提、制約条件

- ◎主体と連携
- ・行政
- ・市民
- ・事業者

新たな価値?

2050年カーボンニュートラル

食品ロス対応

プラスチック資源循環戦略

災害廃棄物対応

サーマルリサイクル(熱回収)

3R(リデュース、リユース、リサイクル)

リサイクル(分別回収、集団資源回収)

(公衆衛生、リスク管理、有害廃棄物管理) 適正処理

あ る ベ き姿 循環型社会形成 ト事業のあり方)

グリーントランスフォ

メーション

GX)

将来の恵庭のラ

過去

現在

未来

商品購入から収集運搬、処理までの流れ



- ・人口(高齢化率)
- ・財政
- ◎上位計画
- ・国、北海道
- ・関連部局
- ◎国際的視点
- ・SDGs、脱炭素

■行政主体

官民連携その他?

廃棄物処理施設の適正配置?

盤尻埋立場再生可能エネルギー検討?

リサイクルセンターの運営手法変更

→稼働効率化・運営コスト減

ごみ袋の最適化、粗大ごみの最適化

→市施設運営・ごみ収集の効率化

■市民・事業者主体

前提、制約条件│■市民・行政

集団資源回収や拠点回収の促進

→再資源化推進・ごみ減量

分別の徹底、不法投棄(ポイ捨て含む)の減少

再使用・再生利用の促進

購入時に発生抑制(食品ロス含む)

ト事業の効率的なあり

介時

全国共通

恵庭モデ

合っ ある べき

商品

廃棄物か否か

分別

排出

処理

将来の恵庭のラ

スタ

4.

リサイクルセンターの 運営手法の検討について

リサイクルセンターの運営手法の検討について

- 1. 体制変更についての課題(前回に引き続き)
- (1) 現行委託業者の雇用の継続性
- (2) 就労継続支援作業所(リサイクル業務)としての運営ノウハウがない
- (3)作業所として人数確保ができるのか不明
- (4) リサイクル業務は安定かつ継続的な通年作業が必須であり、その体制確保が必要
- 2. 上記から検討すべきこと
- (1) 現行委託業者と就労支援事業者や市障がい福祉課との意見交換会設置
- 3. (仮) 恵庭リサイクルパーク設置協議会
 - (1) 構成員(案) 現行リサイクルセンター運営委託事業者

市障がい福祉課

就労支援事業者

◎学識経験者

- (2)協議会 3回程度
- (3)役割 設置(人員確保、機械設備維持管理、財務状況)について

持続可能かどうか判断

(4)期間 8月末まで

第3回以降のごみ処理恵庭モデル検討会の進め方

3~5回各テーマ毎の課題解決策の意見交換

テーマ案

<u>リサイクルセンターのあり方</u> (市民びん分別から就労継続支援A型作業所まで)

粗大ごみ収集の最適化

<u>市民のごみ減量、適正分別、適正排出への行動変容策</u> (発生抑制、再使用、再利用、情報提供、意識啓発) (さらなる資源化策)

- 6回各テーマ間の関わり、まとめ
- 7回から9回上記ごみ処理体制での最適な手数料の検討
- 10回提言書(素案)についての意見交換